

1月 給食だより

鯖江市神明小学校

季節の行事と食文化について

季節ごとの行事やお祝いのときに食べる特別な料理を「行事食」といいます。行事食には家族の幸せや健康を願う意味がこめられています。それぞれの行事や行事食の由来について調べてみるといろいろな発見があり面白いですね。

おみそが 大晦日12/31

年越しそばは、大晦日に縁起をかついで食べるそばです。そばは、細く長いことから、長寿の願いがこめられています。

正月 おせち料理

おせち料理は本来、神様に供えるための料理でした。数の子は卵の数が多いことから子孫が栄えるように、黒豆はマメに働けるように、田作り(ごまめ)はお米の豊作を願っています。

節分 2/3

豆まきには鬼の目にめがけて豆を投げれば“魔滅”(魔が減する)という意味が込められているよ。

お月見 9月

豊作祈願や収穫祝いの気持ちを込めておだんごを供えます。十五夜は15個、十三夜は13個だそうです。

ひなまつり (桃の節句)

邪気をはらい、人形を飾って女の子の健康と成長を願うのが「ひなまつり」です。

お彼岸

春は春分の日前後
秋は秋分の日前後

春と秋のお彼岸は先祖の供養のためにおはぎ(ぼたもち)をお仏壇にお供えます。秋のお彼岸の時期にはつぶあんでおはぎとよび、春はこしあんでおはぎとよびます。

土用のうしの日

暑い時期はうなぎでスタミナをつけよう！

端午 (菖蒲) の節句

身を守る「鎧」や「兜」をかざり、こいのぼりを立てて男の子の成長や立身出世を願い、お祝いをします。

ちまき

かしわもち

ふくい四季の行事

1月25日 天神講 (てんじんこう)

天神講は菅原道真公の命日にちなんだ行事ですが、福井では男の子のいる家庭で正月から天神様のかけ軸をかざり、子どもの成長や学業成就を願います。天神講当日には「焼きガレイ」をお供えする風習もあります。カレイはこの時期が旬です。「魚を食べると頭が良くなる」とも言われています。

福井県の昔ながらの伝統行事を理解し学問の神様に願いながらカレイをいただきます。



1月24日 (金)
学校給食では「カレイのからあげ」が出ます。お楽しみに！